

発言 NO

7

受付 NO 16

令和3年 6月 10日

10 時 21分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 上野 茂

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員地域地

### 発言項目及び要旨

#### 1. 中山間地域の課題解決について

中山間地域では、人口減少、高齢化による担い手不足等で地域役員の負担が増加し、見守り、移動手段の確保など様々な課題がある。以下質問する。

##### (1) 今後の地域福祉のあり方について

ここ数年配食サービス事業の委託料予算が1460万円と変わらないことを踏まえ、以下質問する。

- ① 配食サービス事業の利用延べ配食数の現状を伺う。
- ② コロナ禍により経済的困窮者の方の利用が増えていると思うが、独居世帯など食事を作ることができない世帯への今後の対応策を伺う。
- ③ 市内業者の声をどのようにつかんでいるのか伺う。
- ④ 今後の業者、社会福祉協議会、まちづくりセンターとの連携を伺う。
- ⑤ 見守り移動販売車は、業者の負担が重いと聞く。現状を把握しているか伺う。
- ⑥ コロナ禍の中での福祉施設、市、保健所の連携体制と課題等伺う。

##### (2) 空き家・耕作放棄地対策について

H26年の空き家は市内全域で2,409件と聞く。その後について以下質問する。

- ① 空き家件数と空き家バンク登録の状況を伺う。
- ② U・Iターンによる定住促進状況を伺う。
- ③ 耕作放棄地になる原因と推移を伺う。
- ④ ふるさと農業研修生終了後の浜田市への定住状況を伺う。
- ⑤ 就農希望者へ、農地、空き家、高額な農機具のリースなどに支援する考えはないか伺う。



発言No. 8

受付No. 6

令和 3 年 6 月 10 日  
8 時 50 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 4 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者  
(○をつける)  
員長

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委

### 発言項目及び要旨

#### 1 子育て支援について

浜田市において子育て支援策が充実してきているが、子育て世代の方から情報収集・相談についての意見をよく聞く。

- ① 県内でも多くの自治体が導入している子育て支援母子手帳アプリの導入について、今年2月に私が所属している福祉環境委員会で市長に要望書を提出した。しかし、前向きな回答は得られなかった。その理由として、情報発信については浜田市のHPの充実化を推進していく中で、特に子育て支援サイトに力を入れる。そして相談についてはオンライン相談の実施が挙げられた。浜田市のHPの充実はいつ頃実施される予定なのか伺う。
- ② 子育て支援母子手帳アプリについて導入の検討をしているか伺う。

#### 2 協働のまちづくりについて

今年度の4月1日から協働のまちづくりに向けて、まちづくりセンターがスタートした。

##### (1) まちづくりセンターについて

- ① まちづくりセンターの役割について伺う。
- ② まちづくりセンターの主な業務について伺う。

##### (2) まちづくりコーディネーターについて

- ① まちづくりコーディネーターの役割について伺う。
- ② まちづくりコーディネーターの主な業務について伺う。

##### (3) まちづくり活動団体における地域福祉について

- ① 高齢者などの地域福祉活動がまちづくり推進委員会などの組織内で行われている地域も多い。また浜田市社会福祉協議会に委託している浜田市生活支援体制整備事業も活発に

活動されており、まちづくり活動の福祉事業と目指すところは大変似ている。しかし別々に動いている地域が多く動きにくさを感じるが、今の状況についてどのように考えているか伺う。

### **3 包括的支援事業について**

#### **(1) 認知症施策推進事業について**

- ① 令和3年度施政方針にもあった認知症の方の支援を行う「チームオレンジ」として認定された「チームSOS」の活動が周布地区で始まった。その活動内容について伺う。
- ② 「チームSOS」に対して行政からの活動支援について伺う。

発言No.

9

受付No.

9

令和3年6月10日

9時2分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 15 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨 1

#### 1、市民の健康を守り健康をつくる施策について

①市民の平均寿命が県内でも短く、一人当たり医療費も高く、市民の健康の状況はどうか、その要因をどうとらえていて、どのような対策を講じてきて、具体的な成果が上がっていて、検証の結果どのように評価しているのか、課題をどのようにとらえているのか。

#### 2、介護保険制度について

①他市と比べて介護認定率が高く、介護認定者数も高い水準にあるが、この原因を具体的にどのようにとらえているのか。

②第8期介護保険事業計画によると、浜田市は、介護予防に資する住民運営の通いの場などの所数、参加者数が浜田市は少なく、介護予防の取組の弱さが介護認定率の高止まりの原因ではないか。どう分析評価しているのか。

③高齢者クラブ数、会員数とも激減しているが、高齢者クラブなどへの支援が高齢者の社会参加につながり、介護予防にもつながるが、高齢者クラブ、高齢者サロンの拡大にどう取り組んできて、その成果はどのようなことで、課題をどうとらえているのか。

#### 3、協働のまちづくりの推進について

①協働のまちづくりについて、市として、三隅地区の取組が先進例との評価をしているが、まちづくり推進委員会や自主防災組織の組織化、地区計画の策定、保健委員制度など、この取組をどう全市に広げるのか、基本的、具体的な方針はどうか。

②協働のまちづくりには、市民の総参加が必要であるが、自治会町内会への加入について、8割程度しか加入していない、加入については総合窓口課で呼びかけている、と答弁されているが、まず町内会自治会の加入率をきちんとつかみ、次の対策に取り組む必要があるがどうか。

#### 4、新型コロナウイルスの支援制度について

- ①新型コロナウイルスの影響について、給与、営業、農業など所得別所得金額、事業者相談窓口の状況、社会福祉協議会で扱う緊急小口資金、総合支援資金などの状況など総合的、全体的に見て、市民の生活の状況、経済の状況などはどのようになっていると分析しているのか。
- ②新型コロナウイルスの国、県、市の支援制度について、現時点でどのように行き届いているとみているのか、行き届いていないとすればどのような分野、どのような業種なのか、それに対して、今後市としてどのように支援する考えか。

#### 5、具体的な人口定住政策について

- ①これまで出生数を増やす、若い人の地元就職、U I ターンの促進など人口定住策を取り組んできているが、どのような成果が上がっているのか、上がっていないとすればどのような課題があつて、それを越えるためにどのような政策を打つ必要があるのか。
- ②地域プロジェクトマネージャー、国交省「地方応援隊」、地域おこし協力隊などを積極的に受け入れるため、具体的に行動を起こす必要があるのではないか。また4月にスタートした「音楽で地域の活性化取り組む」協同労働の取組を他分野へも拡充し、積極的に人を受け入れる取組を加速する考えはないか。

発言No. 10

受付No. 23

平成 3 年 6 月 10 日  
10 時 57 分 受付

## 発 言 通 告 書

議席番号 23番 氏名 西村 健

発 言 の 種 別  
(項目を○で囲む)

質疑 個人一般質問 緊急質問

答 弁 を 求 め る 者  
(該当者を○で囲む)

市長 教育長 監査委員  
選挙管理委員会委員長 農業委員会会長  
固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

1 国保運営における問題意識及び当初予算の考え方について

(1) 国保に関する諸数値の変化と被保険者の生活実態に対する認識について

① 平均世帯数、1世帯当たり所得額、平均被保険者数、1人当たり所得額の推移について問う。

② ①から1世帯当たり、1人当たりの保険料および1人当たりの医療費の推移について問う

③ 被保険者の職業（職種）構成の変化・特徴について問う。

④ ①～③の状況から、国保運営について、これまでどんな点に留意してこられたのか問う。

⑤ 国保運営について今後、特に留意する必要があると考えていること、あるいは課題と考えていることがあれば、ご教示いただきたい。

(2) 保険料（率）の基本的な考え方及び予算への反映のあり方について

① 現在、浜田市の国保当初予算の諸数値に、市長・執行部の意思が反映された項目があるのか。あるとすれば、本年度予算を例にご教示いただきたい。

② 当初予算に当該年度の保険料率を反映させることが無理であることは承知しているが、保険料率の本算定にあたっての考え方さえ示さない現状は、当初予算の資格に欠けると考えており、今後、当初予算の段階において考え方を示されるよう要望するがどうか。

(3) 個人事業主への傷病手当金支給制度の創設について

① 昨年、国保に被用者に対する傷病手当金支給制度が創設された。個人事業主へも同様に創設すべきと考えるが、どうか。





発言No. 111

受付No. 3

令和3年6月 8日

8時47分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 7番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 農業の振興について

#### (1) 浜田市の振興作物「有機野菜」について

- ① 浜田市の振興作物は、「大粒ぶどう」、「赤梨」、「西条柿」の3つであったが、本年度の施政方針で、4つ目として「有機野菜」が加わった。なぜこの時期に、有機野菜を加えたか市の考えを伺う。
- ② 現在、「有機野菜」に取り組んでいる、農業者数と売上金額を伺う。
- ③ 施政方針の中に、担い手の確保と栽培面積の拡大を推進するとあるが、目標について伺う。
- ④ 「有機野菜」農業者に対する支援について伺う。
- ⑤ 「有機野菜」の現在の問題点は何か、その対策について伺う。
- ⑥ これまでの3つの振興作物、「大粒ぶどう」、「赤梨」、「西条柿」について、現在の状況を伺う。

#### (2) 男女共同参画第5次計画について

- ① 2021年度から、政府の第5次男女共同参画基本計画がスタートし、農業関係では、認定農業者や土地改良区理事の女性割合の増加を目指す方針である。先に目標を立てていた、農業委員会の女性委員の割合も、さらに高めていく考えだが、市の状況を伺う。

## 2 HACCPについて

- ① 6月1日から、全ての食品等事業者に危害分析重要管理点「HACCP」に沿った衛生管理の導入が完全義務化された。衛生管理の計画の策定、記録保存などが求められる。不備があれば営業停止などの行政処分が下される他、罰金が科される可能性もあるが、浜田市の状況について伺う。

## 3 遠距離通学児童生徒通学援助費について

- ① 小学校児童、通学距離4km以上についての交通費は、交付要綱に沿い全額助成である。3年間の、対象児童数及び、助成金の金額を伺う。
- ② 中学校生徒、通学距離6km以上についての交通費は、交付要綱に沿い全額助成である。3年間の、対象生徒数及び、助成金の金額を伺う。
- ③ 小学生は、通学距離4km以上について全額助成であり、本年度中学校も同じく、4km以上を対象にすれば、対象生徒数と助成金額は、いくら増えるか伺う。

## 4 ヤングケアラーについて

- ① 病気や障がいのある家族の世話をしたり、大人に代わって料理や掃除などの家事をしている18歳未満の子供は、「ヤングケアラー」と呼ばれている。世話をする相手は、小さな弟や妹が多く、体の不自由な父や母、あるいは、年を取った祖父や祖母の生活を助けている人もいるが、浜田市の状況について伺う。

発言No. 12

受付No. 4

令和3年 6 月 9日  
11時20分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 浜田市新型コロナウイルスワクチン集団接種について

- ① 6月6日現在で、島根県の65歳以上の第1回の接種率が、24.9%で、第2回が4.1%であるが、浜田市の地域別の状況を伺う。
- ② 65歳以上が対象で、予約の申込みは、ワクチンコールセンターへの電話による方法と、Webによる方法となっているが、予約ができない高齢者に対する対応を伺う。
- ③ 医療センターの2階が実施会場であるが、交通弱者や遠距離者に対する考えを伺う。

#### 2 災害時の避難支援について

災害対策基本法が改正され、令和3年5月20日から施行されています。  
そこで以下質問します。

- ① 避難指示で必ず避難になり、避難勧告は廃止された。市民に対する周知方法の考えを伺う。
- ② 高齢者や障がい者など、災害時の避難行動や避難所での生活が困難な避難行動要支援者(災害時要援護者)が市にどの程度いるか伺う。

- ③ 福祉避難所は何箇所あって、高齢者や障がい者や要介護者等の介助はどのような仕組みか伺う。
- ④ 市内300か所以上指定されている避難所内のトイレ等はバリアフリー化されているか伺う。